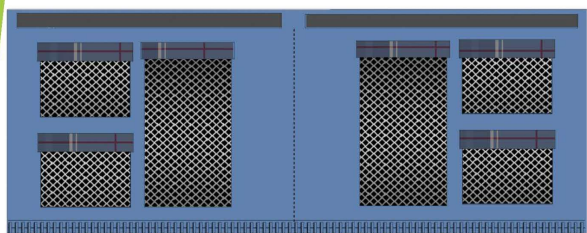


(活動報告書様式)

団体名	ドリームやまがた里山プロジェクト		
事業名	(事業4) リサイクルエアバッグを活用した 災害・避難所用グッズの開発		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	250,000 円
		うち助成金額	250,000 円

防災頭巾

コンセプト ▶ 避難時に両手を使えるよう、日用品を備蓄



● 防災頭巾を広げた様子（裏側）。メッシュ状のポケットがあり、それぞれ小さなタオルやマスクなど日用品をストック。

・ファスナー。頭巾にしてかぶる場合はファスナーを閉め、袋状にする。

・着用のイメージ。素材は車内の座席シートやエアバッグを活用
・近年は「防災頭巾は火が燃え移る」「視認性が悪い」とされている。燃えにくい素材を使用する、女性や子どもになじみやすい柄を用いるなど工夫を行うものとする



■ 事業目的

近年、地震災害や豪雨災害の危険度が増しており、県民の災害に対する意識も年々高まっている。

同時に、災害時や避難所生活で必要とされるグッズについても関心が高まっている。

そこで、使用済み自動車のリサイクルエアバッグの特性（耐久性と強度）を生かした災害・避難時用品グッズの開発を進め、3R推進の一助としたい。

■ 実施内容

① 災害・避難時用品グッズの開発

エアバッグ素材等の特性を活用し、以下8つの防災

グッズの開発を行った。

- ・自動車掲載用防災バッグ
- ・愛犬・愛猫用掲載バッグ
- ・避難所・避難先用パテーション
- ・避難所・避難先用メイクパフ
- ・避難所・避難先用読書灯
- ・避難所・避難先用マスク
- ・防災多機能ベスト
- ・防災多機能頭巾

② 試作品の製作

グッズ開発で特に要望が多かった、以下3つの試作品を製作した。

- ・避難所・避難先用パテーション
- ・防災多機能ベスト
- ・防災多機能頭巾（写真参照＝赤頭巾をイメージした）

■ 事業の成果及び今後の展望

① 事業の成果

エアバッグ素材の特性を生かしつつ、災害・避難時に有用なグッズを提案できた。

今後、リサイクルによる3R推進効果が期待できる。

また、SDGsの「11.住み続けられるまちづくり」（里山づくり）にもつながる取り組みと考えている。

② 今後の展望

関連企業と連携しながら、今後ともリサイクル素材を活用したグッズの開発を進めたい。